



AIは「心」を持てるのか

ジョージ・ザルカダキス 著  
(日経BP社)

人類を救うためには、心を持ったAI（人工知能やロボット）がカギ。処理能力の向上だけでなく、脳に近いアーキテクチャの進化が必要と考える著者が、AIの歴史や現状を踏まえながら、AIと人とのかわりを分析する。



(小学1~2年生向け)

児童書

さかなだつてねむるんです

嶋田泰子文  
(ポプラ社)

からだの色を変えたり、砂にもくったり、インキンチャクに隠れたり、すきまにもぐりこんだり……。安心して眠るためには、作戦が大事です。魚たちがどこで、どんな風に眠っているかを、写真で紹介します。

11/14 読書クラブおひさまのおはなし会

読書クラブおひさまの皆さんによる紙人形劇や手遊びを行います。

とき 11月14日(土) 午前10時30分～ ところ 社会教育センターホール 対象 小学校低学年、幼児 問合せ 社会教育センター図書室 28・5449

11/21 ゆめっ子のおはなし会

とき 11月21日(土) 午後1時30分～ ところ 社会教育センター幼児遊戯室 対象 小学校低学年、幼児 問合せ 社会教育センター図書室 28・5449

12/1 図書室休館のお知らせ

資料整理のため、12月1日(火)は、図書室をお休みします。12月2日(水)からは平常どおり利用できます。問合せ 社会教育センター図書室 28・5449

豊山俳句クラブ

青山克己選

風の音聞いてふうせんかざらかな 田村多喜子  
蔓からむ螭螂鳴つと鎌を上げ 村上ゆり子  
足もとにいつしか秋の来てをりぬ 坪井昭子  
風にゆれ風にあそびし花芒 杉浦みどり  
萍やつかず離れぬこの世かな 高木須磨子  
あきつ飛ぶ風も大地を渡りけり 小塚美枝

坪井径子  
天空に届きし村や蕎麦の花

石黒貴代子  
秋のくれ影の先行く家路かな  
庭先に柿落つる音響きけり 杉本衿子  
安藤春一  
木洩れ日やつづらに折れし石の道  
青山とも子  
茜雲遊び疲れし影二つ  
水野真弓  
夕暮に佇む二人秋の風  
岡島 齋  
山からの風が連れ来し今朝の秋  
また少し影が秋へと傾けり 青山克己

豊山歌壇

水野笑子選

水谷弘子  
軍刀佩きし軍人闊歩す校舎内  
軍事教育吾が五年生  
水野勝代  
お水供へ遺影の母と眼を合はす  
畏れ尋ぬる黄泉の国はと  
水野恵子  
喜寿すぎで一坂ひと坂下りゆく  
吾が誕生日は暑き文月  
山田 米  
早や過去と過ぎしを惜しむ車山の  
開けし原は目交にあり

萩野周子

渡辺トヨ子  
九年目早く過ぎたねと線香に  
火をつけて命日を一人に迎ふ  
金婚を迎ふる庭に茗荷の子  
恙なき日々を気負はず生きる  
中澤芳子  
チラシには横文字言葉多くして  
難解なりぬ老いゆく身には  
村上一枝  
夏野菜できの悪さの畑見るに  
タウモロコシは立ち枯れてある  
落合さなえ  
夏花の鮮やかに咲く我が家にも  
葛藤ありぬこれも人の世  
荒川昌枝  
盆踊りの太鼓の響く古里は  
楽しかりにし父母在りし時

編集後記

二宮尊徳は、田畑の荒廃した貧しい農村から地域再生について相談を受けたとき、収支を合わせて必ず黒字にするように説いた。尊徳が出色しているのは、さう「推譲(すいじょう)」を説いたことである。尊徳のいう「推譲」は、生じた余剰をただ費やしてしまつてはならず、新たな富を生み出すように投資することである。これを繰り返すことで、大きな成長がもたらされることを体現し、後世に名を残した▼今月号では平成二十六年度決算をお知らせした。本町は全ての会計において黒字で、健全な財政運営である。町税などの自主財源の比率は約八割で、全国平均の三十五パーセントを大きく上回っている▼尊徳は、農村に対して行われていた藩からの財政支援を中止させたという。支援をもらうことに腐心せず、地に足をつけて生産物の増加に注力させるためだ。地場産業は発展し、地域の特色となった▼この広報がお手元に届くころには、MRJが初飛行を終えているだろうか。私たちは、先人の「推譲」の恩恵にあずかっている。未来にさらに大きな果実をもたらすことができよう、種を撒き続けていきたい。